



2024年4月12日
第152号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川 一実
編集情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

**横地申
第25号**

「研修を通じたテンポラリースタッフに対する脅迫や買収行為およびJR東労組に対する誹謗中傷を止め、公平・公正な過半数代表者選出と世間に恥じない真っ当な研修を行い、安全第一の職場を求める緊急申し入れ」を本日提出！

東日本旅客鉄道株式会社
横浜支社長 宮田 久嗣 殿

横地申 第25号
2024年 4月12日

東日本旅客鉄道労働組合
横浜地方本部
執行委員長 助川 一実

研修を通じたテンポラリースタッフに対する脅迫や買収行為およびJR東労組に対する誹謗中傷を止め、公平・公正な過半数代表者選出と世間に恥じない真っ当な研修を行い、安全第一の職場を求める緊急申し入れ

JR東労組横浜地本は、2021年度横地申第30号「桜木町営業統括センターおよび湘南・相模統括センターの過半数代表者の選出に関する緊急申し入れ」、横地申第31号「適正な過半数代表者の選出を求める緊急申し入れ」を行い、団体交渉の場で「過半数代表者の選出手続きにおいて『使用者の意向』が入っているのではないか」と指摘してきました。また、横地申第33号「不当労働行為およびあらゆるハラスメントの撲滅と2022年度鎌倉車両センター過半数代表者選出手続きのやり直しを求める緊急申し入れ」では、告発に基づいて鎌倉車両センターにおいて会社ぐるみで過半数代表者の選出を行っている実態を明らかにしてきました。さらに、2022年度横地申第1号「公平・公正な過半数代表者の選出と『社友会』への厳正な指導を求める緊急申し入れ」では、小田原・伊豆統括センターにおいて、地区センター所長が各現場長に対し勤務時間に業務用メールで、社友会幹事に特定の候補者の推薦文の作成依頼を行うよう指示していたことが明らかになりました。

このように横浜支社管内の現業機関では、過半数代表者の選出をめぐる度々不正行為が明らかになり、その都度団体交渉を通じて糺してきました。

そのような中、今年2月と3月に川崎統括センター内のテンポラリースタッフ約30名を対象とした研修において、JR東労組の組合員の実名や顔写真を掲載されたJR東労組の情報紙を使い「向こう（JR東労組）側が職場代表になったら、テンポは首を切られるかもしれない」などと脅し、5,000円で好きなものを買わせ、なぜそれを買ったのかを報告させて贈与したうえで、研修後には会食をさせるなど買収と言わざるを得ない行為が行われていることが明らかになりました。そればかりか、「会社の現状」と題したスライドを使い、JR東労組と過激派が繋がっているかのように示唆し、「組合は体裁だけで何も守ってくれない」「労組は会社の指針にすべて反対している」「労組が力をつけた場合、ストライキで列車が止まる」などとJR東労組に対する誹謗中傷が行われています。さらに、研修講師は自らがバイトテロをやっていたことを自白するに至っては、研修生を苦笑させ、研修参加者から「自分はそんなことしなかった」と否定されており、JR東日本の名を汚したばかりか、アルバイト先であり名指した企業の名誉を傷つけ、最悪は損害賠償沙汰になり兼ねない行為に他なりません。

これらの研修は過半数代表者選出の直前に行われており、研修を担っていたのは過半数代表者（当時）と次期の過半数代表者立候補予定者でもありました。「安全研修」と銘打っていますが、研修の内容上、過半数代表者選出に向けた売名行為であり、脅迫と買収によって票を獲得しようとするための研修であったと言わざるを得ません。

研修生からも「何の研修だかわからない」「コンプライアンス違反だ」「テンポラリス

タッフをなめている」「こんな会社に入りたくない」と企業倫理を問う声が出されています。

会社はこの間一貫して「安全がトッププライオリティ」と言ってきました。しかし、「安全研修」と銘打った研修が、このような内容であることに私たちは強い憤りを感じます。

現在、事故の連鎖が止まりません。昨年8月5日の東海道線大船駅構内の電化柱倒壊・衝突事故ではお客さまと運転士が怪我をされたほか、長時間の駅間停車で多くのお客さまが気分を悪くされました。12月21日には東海道線早川～根府川間でレール折損が発生。現場からは「予算の関係で交換が翌年に先送りされていた」と言われています。今年に入り、1月23日には東北新幹線で架線垂下が起き、復旧にあたった作業員が感電事故で受傷する極めて重大な事故が起きています。2月22日には横須賀線トンネル内でコンクリート壁が剥落、3月14日には同じく横須賀線でレール折損が起きています。また、3月6日に山形新幹線の郡山駅で発生した520mのオーバーランでは、80km/hのポイント制限を大幅に超え145km/hで通過し、大きな揺れでお客さまが怪我をされました。この事象では3月17日の朝日新聞に会社のコメントとして「ポイント制限は乗り心地のために設定されたもので、倍の速度で通過しても脱線の危険性はなかった」と掲載されており、私たちは目を疑いました。

現場ではどの系統も要員不足が深刻であり、乗務員区では安全のための実地訓練を行う研修センターでの研修・訓練を受けさせる要員すら確保できない事態に陥っています。そのような職場現実がある中で今回の研修であり、こうした経営姿勢が、事故の連鎖を止められない要因となっていると言わざるを得ません。

また、鉄道を安全に運行するうえでも、テンポラリースタッフはなくてはならない存在であるにもかかわらず、そうしたテンポラリースタッフを愚弄する今回の行為は、人道的にも安全面からも断じて許されるものではありません。

JR東労組横浜地本は、今回の事象は経営姿勢の問題であり、安全を司るJR東日本にとってあってはならない内容であると受け止め、下記の通り緊急に申し入れますので、会社の真摯な議論と誠意ある回答、再発防止に向けた厳正な対処を要請します。

記

1. 今年2月と3月に行われた川崎統括センター内のテンポラリースタッフを対象とした研修の目的と内容を明らかにすること。また、今研修の責任の所在を明らかにすること。
2. 研修の中で、JR東労組の情報紙を無断で使用した目的を明らかにすること。また、JR東労組に対する誹謗中傷が行われているため、不当労働行為を直ちに是正すること。
3. 川崎統括センターにおける過半数代表者選出過程において、過半数代表者（当時）と次期の過半数代表者立候補予定者が会社の立場を利用し、金銭を用いた研修の中で、過半数代表者選出について周知徹底することは明らかに不正行為であるため是正すること。また、川崎統括センターの2024年度過半数代表者選出をやり直し、公平・公正な過半数代表者選出を実施すること。
4. テンポラリースタッフに対する脅迫や買収行為を止め、真っ当な研修を行うこと。また、テンポラリースタッフに対し不利益扱いを行わないこと。

以上

1. 今年2月と3月に行われた川崎統括センター内のテンポラリースタッフを対象とした研修の目的と内容を明らかにすること。また、今研修の責任の所在を明らかにすること。
2. 研修の中で、JR東労組の情報紙を無断で使用した目的を明らかにすること。また、JR東労組に対する誹謗中傷が行われているため、不当労働行為を直ちに是正すること。
3. 川崎統括センターにおける過半数代表者選出過程において、過半数代表者(当時)と次期の過半数代表者立候補予定者が会社の立場を利用し、金銭を用いた研修の中で、過半数代表者選出について周知徹底することは明らかに不正行為であるため是正すること。また、川崎統括センターの2024年度過半数代表者選出をやり直し、公平・公正な過半数代表者選出を実施すること。
4. テンポラリースタッフに対する脅迫や買収行為を止め、真っ当な研修を行うこと。また、テンポラリースタッフに対し不利益扱いを行わないこと。

不正行為・不当労働行為は絶対に許さない！！